栩野正喜の勁草塾‥「想定外」

最近、千葉で起きた「内水氾濫」と呼ばれる洪水で
大きな被害が出たとニュースがあった。

1時間に60ミリという降水設定だったが
「排水能力」を超える80ミリだったそうである。

うちのお客様で松戸に住んでいる方の話では
マンションの1階が膝まで冠水したそうだ。

その原因は道路が舗装されて排水管に水が流れ込むが
それを排水するポンプ能力を超えて
地上に吹き出る「内水氾濫」の現象が起こった
との事である。

一方、大阪市は南部に設置された地下貯蔵タンクがあり
このような降雨による被害を回避する仕掛けがあったが
タンクから大阪湾へ排水するポンプのうち
数台が設備不良で稼働せず、排水能力が低下して
本来、1時間で完了するものが1週間ほどかかる
という状況になり「溢れて」しまったのだ。

この設備不良を改善するのに
百億円単位の費用がいるという事だ。

「想定外」なら「まだしも」だが、
「整備不良」では「おそまつ」過ぎる
と言わざるを得ない。

日常の定期点検にも多額の費用をかけているにも関わらず
パイプのジョイント不良を発見できなかった
とのことである。

一般企業でも「BCP対策」が叫ばれているが、
例えば、巨大地震が起こった時の被害は広範囲に及び
自社だけの対策では追いつかないケースがあり得る
という事だ。

いわゆる「キャパオーバー」なのだが、

しかし、ＳＣＭが発達して「在庫」を少なくしている大手企業は
中小零細企業が供給する部品一つで操業が止まる
という可能性もあるのだ。

特に「交通」が混乱した場合、
中小零細に「在庫」があっても「供給」が出来ない
という輸送上のキャパオーバーが起こる。

このような時に、代替手段として
クルマではなく2輪車を活用すれば、なんとかカバーできる
という事も想定する必要がある。

最近の方々は2輪の免許を持たない傾向なので
普通免許で運転できる原付や自転車なども用意しておく
という「万が一」の対策も講じておく必要がある。

もちろん、いつでも稼働できるように定期的に検査しておく
ことが重要である。

【勁草塾のバックログはホームページにあります！】